

ほとけの子夏の集い

去る八月五日、蔵本通支坊で、西教寺・安楽寺・明円寺合同のほとけの子夏の集いが行われました。

十字架からのメッセージ

今年は龍谷大学伝道部の夏期巡回がないので、人形劇はありませんでしたが、色々趣向を凝らして開催しました。

おつとめの後ご法話、その後映画『十字架からのメッセージ』を鑑賞しました。



真つ黒けですが、地下光浄殿で映画を見ている様子です。

おすすめの本



『この世界の片隅に』(このふみ代作・全3巻)。呉の郷土史、平和学習にオススメです。結婚して呉の上長ノ木町に住んだ江波(広島市)の女性が、空襲、原爆、水害などにあいながらも生きていく物語。しっかりと聞き取りと調査に基づいて描かれていて、朝日町とか聞き慣れた地名も登場。ご近所に堂本さんという人も(ご門徒の堂本さんかしら)。1945年5月、広工廠が空襲され、6月に呉工廠、7月1日から呉市街、そして7月24日から、残った艦隊を一掃するべく数日間にわたり空襲と続く。映画『十字架からのメッセージ』の米軍兵が墜落死した24日というのはこの空襲だということも理解できる。

音戸町の藤の脇山中に十字架の墓がある。これは、

一九四五年、呉空襲の際、墜落死した米軍兵の墓。反米感情の高かった時代に、なぜこのような墓があるのか、また、このようなことができたのか、空井英徳(西教寺ご門徒)さんが調査、作製された映画です。

話は変わりますが、この

か？

映画を見終わって、五月に増井先生に教えていただいた通り、「どんな話だったか」「何が言いたかったか」「感想」の順番で皆に聞いてみましたら、「戦争はいけな」と思った。「アメリカ兵を埋めてあげた人は偉いと思った」など、大人向けの映画にもかかわらず、ちゃ

八月にアカデミー賞を受賞したステイプン・オカザキ監督作『ヒロシマ・ナガサキ』という映画を見ました。冒頭、東京の繁華街にいる若者に一九四五年の八月六日は何の日か知っていますか？とインタビューする場面があります。しかし、知っている若者は誰一人としていませんでした。日本は大丈夫でしょう

んと伝わっていて、心強く感じました。

映画の後は、滝本(南林寺)さんによるゲーム



吹いた笛の数の人数でグループを作るゲーム「ナンバーコール」。子供が孤立せずに、集団の中で仲間作りができるようになるワーク(練習)にもなっているのだ。

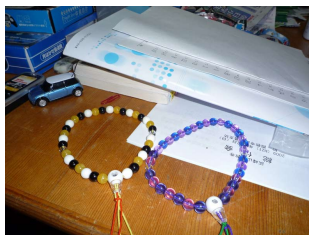


食後のかき氷大会では、いちご、レモン等シロップは思い思いにかけて食べました。全種類かけた子もいました。

そして昼食は、ソーメン流しをしました。竹は汗だくになって長ノ木本坊から切り出しました。今年は、中原さん(日校生徒のお母さん)の大活躍で、焼山から二〇名近くの子供が参加してくれ、計五〇名プラス大人で大騒ぎしながらいただきました。

世界に一つのマイ念珠

昼食後は、色んな玉を好きなようにつなげて、世界に一つだけのマイ念珠をつくりました。せつ



かくつなげて、途中でばらばらになる子もいましたが、町田育栄（小堀仏壇店）さんにご指導いただき、皆時間内に上手にできました。楽しんでくれたようで、絶対十二月（報恩講仏の子の集い）にも来るからね！と宣言してくれた子もいました。

たてごと ビルマの豎琴は音もなく

—ミャンマーのパゴダ巡り—⑦

斉藤久仁子



軍政悲しいミャンマー

ビルマという国名をミャンマーと変えたのは今の軍市政権だ。だからミャンマーという国名を認めるのは軍市政権を受け入れることになるとの意見がある。

今回の旅はミャンマーの遺跡、寺院と仏塔巡りが中心であったが、出る話やMさんへの質問は、歴史や社会の現状についてが多かった。徴兵制問題になつた時、そんな話を極端に嫌う人がいたので、話しかけてやめたことがあった。翌朝の朝食の時、時事問題を嫌う人が早く席を立った。大部分の人はまだ食卓

についていた。彼女が扉の外に消えるのを見届けるや、Mさんが、「斉藤さん、きのうの質問は何だったの」と聞いた。私はちよつと驚いた。その朝、パダウン族の織つたスカーフを買

い出しに行った時、かなりの時間をMさんとは二人つきりだった。だからMさんは二人きりでその問題を話題に出すことが出来たのだ。なのに今、殆ど

の人がいる時に話題にしようとしている。明治から敗戦まで日本では徴兵制があつた。しかし、太平洋戦争末期には徴兵を待たずして志願の形で少年兵が多く出た。今、ミャンマーでは推定

七万人の子供が政府軍の兵士になっていると、旅に出掛ける前に新聞で読んでいた。で、私は、「ミャンマーに徴兵制があるの？」と聞いた。するとMさんは一気に話し始めた。いわく、ミャンマーに徴兵制はない。必要としないから。政府は大々的に軍事パレードをやる。都会でよりも田舎でよいにそれをやる。その派手さは北朝鮮のパレード以上だ。装甲車や大砲を繰り出し、派手な音楽と分列行進をやって目を奪い、何も分らない田舎の少年に恰好いと思わせ、いい職のない田舎の少年を軍隊へと向かわせる。恰好良さだけにあこがれて入隊した純真な少年を、やがて加害者側にしていくことが私には許せない。政府はスーチーさんを軟禁したままだ。政府は本当のことを国民に知られるのを恐れている。

ざつとこんなことを、まだまだたくさん一瀉千里にしゃべった。

一九九〇年の総選挙ではスーチーさん率いる国民民主連盟が議席の八割以上を獲得した。政府は選挙以来一度も国会を開いていない。加えて少数民族と軍政が自治権や政治参加などで与党の国民会議の中でも対立があると新聞は報じている。少数民族は民族教育も言語も禁じられている。私達はパダウン族・シャン族・パオ族・インダー族などいくつかの少数民族を、このインレー湖の周辺でも見てきたが、一見のどかに見える農村漁村が大変な問題を抱えているのだ。